

令和2年度

教育委員会の事務の管理及び
執行状況に係る点検・評価報告書

釜石市教育委員会

目 次

はじめに	1
1 強く生き抜く子どもを育てるまちづくり（基本目標6）	3
① 地域との協働による特色ある教育活動の展開	4
② 生活・防災拠点としての教育環境整備	9
2 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり（基本目標7）	11
① 歴史遺産の活用と芸術文化の振興	12
3 絆と支えあいを大切にするまちづくり（基本目標2）	21
① 安心できる子育て環境の整備	21
② 学びが実践につながる生涯学習社会の形成	22
4 教育行政に関する事項	27
5 資料	28
「令和2年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価調書」有識者からの意見聴取会意見（要点）	31

はじめに

- この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条に基づき、令和2年度の教育委員会の管理及び執行の状況に係る点検及び評価結果を取りまとめたものです。

点検及び評価に当たっては、平成23年12月22日策定の「釜石市復興まちづくり基本計画 スクラムかまいし復興プラン」の進行管理と連動するよう、同計画の「復興まちづくりの基本目標」に基づいて整理しました。

- 点検及び評価は、2段階で実施しており、第1段階として、「釜石市復興まちづくり基本計画 スクラムかまいし復興プラン」の7つの「基本目標」のうち、3つの「基本目標」における「取組項目」の結果を個別に評価した上で、第2段階として3つの「基本目標」のそれぞれを総合的に評価しました。評価の順番については、基本目標の順番によらず、学校教育に主眼を置いた順番としました。

なお、「取組項目」としての位置づけではないため、点検及び評価の対象ではありませんが、別途教育行政に関する事務や組織機構の見直しにより市長部局へ移管した事務についても取り組み状況をまとめています。

釜石市教育委員会委員名簿

委員	佐藤 猛 夫
委員	鈴木 勝
委員	福成 菜穂子
委員	花輪 妙子
教育長	高橋 勝

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(参考)「釜石市復興まちづくり基本計画 スクラムかまいし復興プラン」(抜粋)

目指すべき釜石の将来像：三陸の大地に光輝き希望と笑顔があふれるまち釜石

○ 7つの基本目標 (点検・評価の対象：基本目標2、基本目標6及び基本目標7)

基本目標1：暮らしの安全と環境を重視したまちづくり

基本目標2：絆と支えあいを大切にすまちづくり

— 安心できる子育て環境の整備

(実施施策)・被災した幼稚園の整備

— 学びが実践につながる生涯学習社会の形成

(実施施策)・公民館や図書館など学習機能の早期復旧

・ライフステージに応じた学習機会の創出

基本目標3：生活の安心が確保されたまちづくり

基本目標4：人やもの、情報の交流拠点づくり

基本目標5：ものづくり精神が息づくまちづくり

基本目標6：強く生き抜く子どもを育てるまちづくり

— 地域との協働による特色ある教育活動の展開

(実施施策)・地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

・教育関係機関と連携した心のケアの継続

— 生活・防災拠点としての教育環境整備

(実施施策)・防災機能や地域コミュニティの拠点となる学校の建設

・命を守る教育の推進

基本目標7：歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり

— 歴史遺産の活用と芸術文化の振興

(実施施策)・橋野高炉跡のユネスコ世界遺産登録の推進と近代化遺産の活用

・郷土芸能の伝承や芸術・文化活動への支援

・埋蔵文化財の調査と指定文化財の復旧

— スポーツの推進とスポーツ施設の拠点化

(実施施策)・スポーツを通じた市民の健康づくりの推進

・スポーツ施設の拠点化とスポーツイベントの誘致

1 強く生き抜く子どもを育てるまちづくり（基本目標6）

総合評価

【学校教育課】

- ・ 釜石市小中学生「かまいし絆会議」を中心に、震災後10年を迎えるにあたり、「かまいし“絆”宣言」の作成及び発信やフィジーへの災害支援の募金の取組など、市内児童生徒が一丸となって主体的に関わることができた。
- ・ 釜石市小中学生「かまいし絆会議」が、自分たちの生活や地域のことに課題意識をもち、自分たちができることを考える場として機能した。今後とも「かまいし絆会議」を児童生徒のリーダーの育成の場並びに主体的な活動につなげる場として活用していく。
- ・ かまいしコミュニティスクール推進事業及び「いのちの教育」の取組において、地域を理解し、地域への誇りと愛着を育み、何より命を大切にすることを推進することができた。
また、取組に際して、地域との協働による活動、地域の支援・協力を得た活動により、地域とのつながりの中で子どもたちを育むことができた。
- ・ 各学校とも良好な人間関係づくりを基盤に、体験活動の充実、道徳教育の推進などにより、豊かな心の育成に取り組んだ。その成果もあり、いじめ問題について、重大事案は発生していない。しかし、小学校において、昨年度よりも不登校の児童数が増加傾向にあることから、教育相談員やスクールカウンセラー、スクール・ソーシャル・ワーカーを活用し、学校や保護者と連携しながら対応を行っていく。
- ・ ICT教育のさらなる充実を図るため、文部科学省が提唱する「GIGAスクール構想」による児童生徒一人一台の端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、令和3年度からの授業導入に向けた諸準備を行った。

【総務課】

- ・ 学校施設の適切な維持管理と必要な改修を行うことにより良好な教育環境を整えることができた。また、小・中学校の教室・職員室等に空調設備を設置したことで、夏季における熱中症対策を講ずることができた。

【学校給食センター】

- ・ 農産物について、関係者の協力により新たに釜石産米を取り入れ、地場産品目を増やすことができた。
- ・ 「食に関する指導」により、地元食材への関心と生産者への感謝の心を育む「食育」の推進が図られた。

取組項目		個別評価
1	地域との協働による特色ある教育活動の展開	【学校教育課】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に地域学校協働本部事業に取り組んでいる学校では、学校の諸活動に地域や保護者の協力を得て、学校経営を推進できた。また、各小学校では、地域の方々による登下校の見守り活動が行われ、児童が安心して登下校することができた。 ・ 総合的な学習の時間では、地域人材のゲストティチャーとしての活用や地域資源を活用した学習活動が行われた。「いのちの教育」の推進においても、合同避難訓練の実施や防災マップづくり等地域と協働した活動が行われた。 ・ かまいしコミュニティスクール推進事業を活用し、郷土芸能や地域の産業学習、鉄に関する学習など、地域の協力を得ながら各学校や地域の特色に応じた特色ある活動を展開することができた。 ・ 平成29年度に組織し、活動を始めた「かまいし絆会議」において9月25日を「絆の日」と設定し、自分たちができることを考え、地域のための活動に取り組むことを通し、地域貢献への意識と郷土への誇りを高めることができた。

		<p>【学校給食センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産直の協力のもと新たな品目を増やすなど、地場産物の活用を図った。また、学校を訪問し「食に関する指導」を行うことで、児童生徒が地元食材への関心と生産者への感謝の心を育むなど「食育」の推進が図られた。
2	生活・防災拠点としての教育環境整備	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年行う施設の改修等に加えて、小・中学校の教室・職員室等に空調設備を設置し、教育環境の改善に努めた。 <p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害についての学習プログラムを岩手大学と連携して計画し、平田小学校、栗林小学校、唐丹中学校において実践を行い、来年度以降、市内各小中学校において実践を行うための準備を進めることができた。 ・「いのちの教育」と復興教育との関連を示すことにより、各学校における取組の具体化に資することができた。 ・ICT教育の充実のため、端末機器の確保、通信ネットワーク環境を整備し、並行して各学校にヒアリングを実施することにより、事業の効果と課題を共有した。

【取組項目】

① 地域との協働による特色ある教育活動の展開

実施施策	令和2年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
地域づくりに寄与する、各学校の特色をいかした教育の推進	<p>【学校教育課】</p> <p>□釜石市「いのちの教育」実践</p> <p>「自他の命を守るために、主体的に行動することができる子ども」を育てるために、教育活動全体で防災教育を核とし、自他の命を尊重する心を培うとともに、地域の人や自然、自然災害に対する理解を深めながら、主体的に自分で判断し行動することができる資質や能力を育てる。」ことを目的に、実践を深めた。</p> <p>〔実施校〕小学校：全9校・中学校：全5校</p> <p>〔事業実践例〕</p> <p>釜石市立釜石小学校</p> <p>①いのちの教育（授業等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あかちゃんがうまれるよ」（1年 特別活動） ・「おへそのひみつ」（2年 特別活動） ・「おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね」（3年 道徳） ・「災害時に必要なものを考えよう」（4年 総合的な学習の時間） ・「『自分でできること・家族でできること』を考えよう」（5年 総合的な学習の時間） ・「防災クロスロードゲーム」（6年 総合的な学習の時間） ・「いただいたいのち」（3年知的学級 道徳） ・「災害時にはどんなものが役立つだろう」（4年 自閉・情緒学級 特別活動） <p>②防災訓練</p>	<p>□ 今後も各学校及び地域の実態に応じて取り組む。津波災害以外の自然災害（土砂災害・洪水）への意識を高めていく。</p> <p>□ より一層家庭や地域と連携した取組を推進する必要がある。</p> <p>□ かまいし防災教育の手引きについて構想を検討している。（義務教育を卒業した段階で、釜石市の小中学生全員が同じような学習内容、学習活動を経験していることを目標としている。）</p>

- ・地域と合同で行う下校時の避難訓練（白山小学校と合同開催、津波発生を想定）

釜石市立双葉小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「地震・津波から命を守ろう」（4年 総合的な学習の時間）
- ・「自然災害からわたしたちの暮らしを守る」（4年 社会）
- ・「もしものときにそなえよう」（4年 国語）

②防災訓練

- ・釜石市津波避難訓練の理解を通して、町ぐるみで防災に取り組む意識を涵養するとともに、復興教育における【そなえる】の重点化を図る。

釜石市立白山小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「防災マップづくり」（特別活動）
- ・「洪水・土砂災害」についての学習（特別活動）
- ・わたしたちの暮らしと台風（5年 理科）

②防災訓練

- ・避難訓練（火災想定）
- ・下校時の避難訓練（津波想定）

釜石市立平田小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「家族のためによろこんでもらったよ」（1年 特別活動）
- ・「ショートくん練をやってみよう」（2年 特別活動）
- ・「災害から命を守ろう」（3年 総合的な学習の時間）急な大雨・かみなり・たつまき
- ・「土砂災害から命を守ろう」（4年 総合的な学習の時間）
- ・「災害から命を守ろう」（5年 総合的な学習の時間）洪水災害と避難の仕方
- ・「災害から命を守ろう」（6年 総合的な学習の時間）災害時に必要な情報

②防災訓練

- ・避難訓練（地震津波想定）平田こども園合同で実施

釜石市立小佐野小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「ゆきひょうのライナ」（2年 道徳）
- ・「防災を調べよう」（3年 総合的な学習の時間）
- ・「大震災を語り継ぐ会」（特別活動）
- ・「水上安全教室」（5年 体育）

②防災訓練

釜石市立甲子小学校

①いのちの教育（学年別重点目標）

- ・低学年
避難の際には、教員や近くの大人の指示に従って、適切な行動がとれるようにする。
- ・中学年

災害発生時に起こる様々な危険について知り、安全な行動がとれるようにする。

・高学年

状況に応じた身の守り方を自ら判断し、速やかに安全な行動がとれるようにする。

②いのちの教育（授業等）

- ・「地震のしくみと被害」（４年 総合的な学習の時間）

③避難訓練（火災想定、地震津波想定）

釜石市立鶴住居小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「津波って何だろう」（１年 特別活動）
- ・「災害から命を守るには」（２年 特別活動）
- ・「災害から身を守ろう」（３年 総合的な学習）
- ・「地域の防災施設を知ろう」（４年 総合的な学習）
- ・「津波のメカニズムや被害を知り、自分たちの生き方を見直そう」（５年 総合的な学習）
- ・「鶴住居の防災を広げよう」（６年 総合的な学習）

②避難訓練等

釜石市立栗林小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「地震がおこったらどうするの」（１・２年 特別活動）
- ・「津波による釜石市の被害」（３・４年 総合的な学習の時間）
- ・「土砂災害の防災教育」（５・６年 総合的な学習の時間）

②避難訓練等

釜石市立唐丹小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「岩手の主なさいがい」（１年 特別活動）
- ・「みんなの生活の命づな」（３年 総合的な学習の時間）
- ・「地震・津波からわたしたちの暮らしを守る」（４年 総合的な学習の時間）

②避難訓練等

釜石市立釜石中学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「災害時の避難について」（１年 総合的な学習の時間）
- ・「避難するときに気をつけること」（２年 総合的な学習の時間）
- ・「新型コロナウイルス感染症学習」（１年 総合的な学習の時間）

②避難訓練等

- ・火災への対応、地震への対応

釜石市立甲子中学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「その『いじり』大丈夫？」（全学年 道徳）

②避難訓練等

- ・地震・火災への対応、シェイクアウト訓練

釜石市立釜石東中学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「炊き出し訓練を通して、災害時の行動について考えよう」（1年 総合的な学習の時間）
- ・「防災まち歩き」（3年 総合的な学習の時間）

②避難訓練等

- ・小中合同下校時津波避難訓練
鵜住居駐在警察官、交通指導隊、スクールガード、各町内会、いのちをつなぐ未来館、鵜住居地区生活応援センターと連携
- ・小中合同避難訓練
鵜住居地区生活応援センター、釜石市社会福祉協議会と連携

釜石市立唐丹中学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「ある日突然シミュレーション体験」（全学年 総合的な学習の時間）
- ・「土砂災害」（全学年 総合的な学習の時間）

②避難訓練等

釜石市立大平中学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「救急救命講習」（全学年 総合的な学習の時間）
- ・「ノーマライゼーション」講義（1年 総合的な学習の時間）
- ・「コミュニケーション講義」（1年 総合的な学習の時間）
- ・「認知症サポーター養成講座」（1年 総合的な学習の時間）
- ・「防災授業（備蓄倉庫確認等）」（1年 総合的な学習の時間）
- ・「あいぜんの里『実技講習』」（2年 総合的な学習の時間）
- ・「キャップハンディ体験学習」（2年 総合的な学習の時間）
- ・「価値観学習」（2年 総合的な学習の時間）
- ・「土砂災害について（学校防災アドバイザー派遣事業の活用）」（2年 総合的な学習の時間）
- ・「あいぜんの里『夏祭り』」（3年 総合的な学習の時間）
- ・「炊き出し実習（赤十字）」（3年 総合的な学習の時間）

②避難訓練等

□かまいしコミュニティスクール推進事業

各小・中学校において、「地域に元気を与える」「郷土釜石の理解を深める」などの学校と地域と協働で取り組む活動等を推進した。

〔実施校〕小学校：全9校・中学校：全5校

〔事業内容〕

地域住民との交流活動、学校広報の発行と地域への配付、協働による花壇整備活動、地域清掃活動、地域施設

□ かまいしコミュニティスクール推進事業を活用し、市内小中学校児童生徒が卒業するまでに、郷土理解のための施設を全て見学や体験できるよう、計画を作成していく。

を利用した体験活動、地域理解活動、地域行事を通じた交流活動、郷土芸能伝承活動、防災学習、鉄づくり、鉄の学習、ラグビー部活動、地域住民参加合同運動会等

□かまいし絆会議

各小・中学校児童生徒の代表が集まり、9月25日を「絆の日」と設定し、それぞれの中学校区で地域にかかわる活動を行うことを決定し、市内小・中学生全員が関わるものとして「かまいし“絆”宣言」の制作を進めた。また、専門部会では

- ①第2回専門部会 7/20（月） 生徒10名参加
 - ・9月25日「絆の日」に向けた取組について話し合った。
- ②第2回かまいし絆会議 8/7（金）
 - ・9月25日「絆の日」の各校の取組について話し合った。
 - ・寄付金の使い方について協議した。
- ③第1回専門部会 12/8（火） 生徒10名参加
 - ・かまいし絆会議の1年間の取組について計画を立てた。
 - ・震災から10年経過したことを一つの節目としてメッセージを発信することについて話し合った。
- ④第1回かまいし絆会議 12/25（金）
 - ・各校の取組について計画を立てた。
 - ・震災から10年を経過し、かまいし絆会議として発信するメッセージについて話し合った。
- ⑤釜石市・大館市児童・生徒交流会 2/12（金）
 - ・各校の生徒会活動、地域活動について交流し、自分たちにできることを互いに考えた。
- ⑥臨時かまいし絆会議 2/12（金）
 - ・かまいし“絆”宣言、フィジーへの募金について話し合った。
- ⑦臨時専門部会 3/2（火）
 - ・かまいし“絆”宣言、旗の利用方法について確認をした。

【学校給食センター】

□学校給食への地場産物利用

産直の食材納入意思確認を行い、現状・課題について情報共有を図り、食材の確保利用につなげた。

新たに釜石産米を学校給食に取り入れ、品目の増加を図った。

〔地場産食材利用状況〕

項目	22年度	23年度	…	元年度	2年度
品目数	3	2		10	11
使用数量	1,588kg	1,183kg		2,388kg	1,919kg

□食に関する指導

児童生徒が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自ら健康管理ができるよう、栄養教諭による各教科等における食に関する指導や試食会等を活用した指導に取り組んだ。

〔指導実績〕

□ 現在までの活動の経験等を生かし、今後も自分たちの住む地域のために何ができるかを考え、それを実践しようとする態度を育成する場として、「かまいし絆会議」を充実・発展させていく

□ 地場産物の作付け情報を共有し、新たな地元食材の活用を推進していく。

□ 学校に対し食に関する指導や試食会の実施について積極的に働きかけていくほか、食育だより等様々な機会を活用し「食育」の推進を図っていく。

	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>29回</td> <td>11回</td> <td></td> <td>48回</td> <td>57回</td> </tr> <tr> <td>(授業)</td> <td>11回</td> <td>6回</td> <td></td> <td>45回</td> <td>56回</td> </tr> <tr> <td>(その他)</td> <td>18回</td> <td>5回</td> <td></td> <td>3回</td> <td>1回</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/>アレルギー給食対応 令和2年度の2学期から食物アレルギーを有する児童生徒への対応食の提供を開始した。 安全性を考慮し、乳・卵アレルギーにのみ除去食・代替食の提供を行った。</p>	項目	22年度	23年度	…	元年度	2年度	実施回数	29回	11回		48回	57回	(授業)	11回	6回		45回	56回	(その他)	18回	5回		3回	1回	<input type="checkbox"/> 継続して安全に提供していく。
項目	22年度	23年度	…	元年度	2年度																					
実施回数	29回	11回		48回	57回																					
(授業)	11回	6回		45回	56回																					
(その他)	18回	5回		3回	1回																					
教育関係機関等との連携を図った心のケア継続	<p>【学校教育課】</p> <p><input type="checkbox"/>こころのケア事業 子どもたちやその保護者、教職員の震災によるストレス障害などを早期に把握し、教育現場におけるきめ細やかなケアに対応できるよう、継続的、長期的な心のケア対策を充実させるため専門職を配置した。 〔事業内容〕 スクールカウンセラー（臨床心理士）が各小・中学校を巡回型（県派遣2人）、配置型（県派遣3人）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 定期的な児童生徒、保護者、教職員との面談。 ② スクールカウンセラーによる校内研修会での講義、サポート授業でのチームティーチング。 ③ 保護者、教職員へ、気になる児童生徒への対応について、日常における支援についてのアドバイスを行った。 ④ SSW や関係機関へつなげるきっかけ作りをしていた。 <p><input type="checkbox"/>釜石市いじめ問題対策連絡協議会 関係機関（釜石警察署、宮古児童相談所、釜石市子ども課、釜石市少年センター）等が児童生徒のいじめに関する課題意識を共有し、いじめの未然防止と早期解決に資するため、年3回開催した。 第1回 7/9（木） 第2回 12/10（木） 第3回 2/25（木）</p>	<p><input type="checkbox"/> 児童生徒の心のケアは長いスパンで継続して取り組む必要がある。今後もスクールカウンセラー等の人的環境を整えとともに、教職員の研修を実施し、組織的・長期的に取り組む体制を確立し、心のケアを推進していく。</p> <p><input type="checkbox"/> いじめの未然防止または早期解決のために関係機関と連携しながら対応し、被害児童生徒の心のケア適切に行う。</p>																								

② 生活・防災拠点としての教育環境整備

実施施策	令和2年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
防災機能や地域コミュニティの拠点となる学校の整備	<p>【総務課】</p> <p><input type="checkbox"/>学校環境整備事業 学校施設・設備等の教育環境改善のため、小・中学校の校舎等について改修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐丹小学校環境整備工事 ・甲子小学校校舎クラック工事 ・平田小学校防球ネット更新工事 ・釜石中学校屋内運動場漏水対策工事 ・東中学校環境整備工事 	<input type="checkbox"/> 適正な維持管理を行いながら、必要な改修を行う。

	<p>□学校空調整備事業 夏季の熱中症対策として、小・中学校の教室・職員室等に空調設備を設置した。 ・小学校空調整備工事 ・中学校空調整備工事</p> <p>□栗林小学校グラウンド改修事業 栗林小学校グラウンドの水はけを改善する改修工事を実施した。</p>	
<p>命を守る教育の推進</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>□いのちの教育 釜石市の学校教育の目標である、「強く生き抜く力」の育成を図るために、各小・中学校における担当教員が「いのちの教育」の重要性や今後の方向性について理解を深めることにより、防災教育を核とした「いのちの教育」の充実に資することを目的に研修会を実施した。 特に、第2回研修会では、大雨による土砂災害に関する授業実践やその有効性について報告するとともに、唐丹中学校における実践発表を行った。 今年度も各小・中学校での取組をまとめた「令和2年度いのちの教育実践事例集」を作成した。 〔事業内容〕</p> <p>①第1回研修会 5/28（木） 14名参加 講義：釜石市の「いのちの教育」について （学校教育課 指導主事 和田 智恵） 講話：「土砂災害の実態と防災教育の意義について」 （岩手大学農学部森林科学科 砂防学研究室 教授 井良沢 道也）</p> <p>②第2回研修会 2/16（火） 14名参加 実践発表：令和2年度いのちの教育の取組について （唐丹中学校 教諭 菅原 朝子） 助言及び報告：地域課題解決プログラムについて （岩手大学農学部森林科学科 砂防学研究室 4年 青木 佳音 4年 石戸 みさと 教授 井良沢 道也） 説明：土砂災害学習指導案について （学校教育課 指導主事 和田 智恵）</p> <p>□ICT教育 GIGAスクール構想推進事業により実施した主な施策 ①釜石市小・中学校情報通信ネットワーク環境整備 ②釜石市小・中学校学習用タブレット端末機器賃貸借 端末総整備数：1,548台 ③GIGAスクールサポーター業務委託 ④モバイルルーター、webカメラなど、必要機器の購入</p>	<p>□ 各学校とのヒアリング結果、それぞれの教諭の授業方針・授業計画があることを念頭に、GIGAスクールの導入が学校教育現場の負担にならないよう、GIGAスクールサポーターを活用するなど、可能な限りサポートしていく。</p>

2 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり（基本目標7）

総合評価

【文化振興課】

- ・唐丹町大石に所在する「屋形遺跡」は、「太平洋に面した海岸段丘上の立地と、貝塚を伴う集落構造が三陸沿岸の生業を示す上で重要」として、当市において、橋野高炉跡に続く2例目の国の史跡に指定された。
- ・釜石市文化財保護審議会からの答申を受けて、有形文化財「鮭供養碑」と、天然記念物「女遊部のトチノキ」の2件を新たに市の指定文化財に指定した。
- ・被災した郷土芸能団体の活動支援として、山車保管庫設置に係る費用を補助した。
- ・鉄づくり体験事業を実施し、鉄づくり体験やふるさと歴史講座を通じて、先人から受け継がれてきた「ものづくり精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図った。
- ・歴史はっけん事業を実施し、釜石市文化財保存活用地域計画策定のため、市内収蔵施設のデータベース統合作業を行うと共に、岩手大学地域課題解決プロジェクトによって古文書調査及び史料目録の作成を行った。

【世界遺産課】

- ・世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山を基軸とした「釜石の製鉄の歴史」を積極的に周知するとともに、所管施設である橋野鉄鉱山インフォメーションセンター、鉄の歴史館、旧釜石鉱山事務所の適切な管理・運営に努めた。
- ・産学官が連携した「鉄のふるさと釜石創造事業実行委員会」を組織し、通年で「近代製鉄の歴史と文化」の周知に関する事業、「近代製鉄の歴史と文化」の調査に関する事業、「近代製鉄の歴史と文化」を活用していくための検討（人材育成）を行った。
- ・12月1日の鉄の記念日を中心とする前後1週間を鉄の週間と位置づけ各種事業を展開し、「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録5周年記念シンポジウムを開催した。

取組項目	個別評価
1 歴史遺産の活用と芸術文化の振興	<p>【文化振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災した郷土芸能団体に民間法人等の助成金を利用した用具などの整備を行った。また、山車の格納庫や用具倉庫等の整備を対象とした郷土芸能復興支援事業を実施し、郷土芸能団体の再整備化に取り組んだ。 ・屋形遺跡について国指定に向けた内容確認調査を実施し、令和3年3月26日に国指定史跡となった。 ・鮭供養碑と女遊部のトチノキを新たに文化財指定し、市内に残る貴重な文化財の保存・活用に寄与した。 ・埋蔵文化財の各種照会に対応し、被災者の住宅再建や復興公共事業等に伴う発掘調査成果の整理作業を実施した。 ・埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の分布調査を行い、縄文時代前期の遺跡の一部を明らかにした。 <p>【世界遺産課】</p> <p>世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山を基軸とした「釜石の製鉄の歴史」を積極的に周知するとともに、所管施設である橋野鉄鉱山インフォメーションセンター、鉄の歴史館、旧釜石鉱山事務所の適切な管理・運営に努めた。</p> <p>また、産学官が連携した「鉄のふるさと釜石創造事業実行委員</p>

		<p>会」を組織し、通年で「近代製鉄の歴史と文化」の周知に関する事業、「近代製鉄の歴史と文化」の調査に関する事業、「近代製鉄の歴史と文化」を活用していくための検討(人材育成)を行った。</p> <p>さらに、12月1日の鉄の記念日を中心とする前後1週間を鉄の週間と位置づけ各種事業を展開した。</p> <p>令和2年度においては、「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録5周年記念シンポジウムを開催した。</p>
--	--	---

【取組項目】

① 歴史遺産の活用と芸術文化の振興

実施施策	令和2年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
橋野高炉跡のユネスコ世界遺産登録の推進と近代化遺産の活用	<p>【文化振興課】</p> <p>□鉄づくり体験事業</p> <p>鉄づくり体験やふるさと歴史講座を通じて、先人から受け継がれてきた「ものづくり精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図った。</p> <p>○鉄づくり体験（総合学習支援の一環として）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石東中学校鉄づくり体験 開催日：令和2年7月14・15日 会 場：甲子町大橋旧釜石鉱山事務所 参加者：東中学校1年生（世界遺産課の協力） ・甲子中学校鉄づくり体験 開催日：令和2年9月17・18日 会 場：甲子町大橋旧釜石鉱山事務所 参加者：甲子中学校1年生 ・釜石小学校鉄づくり体験 開催日：令和2年11月9・11日 会 場：釜石小学校校庭 参加者：釜石小学校5年生 <p>○鉄の検定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受検者 〔小中学生〕 開催日：令和2年12月2日～12月4日 会 場：各学校で実施 参加者：全体で210名 〔一 般〕 開催日：令和2年12月1日 会 場：教育センター 参加者：9名 ・表彰式 新型コロナウイルスの影響により中止 ・表彰対象者 〔小中学生〕 表彰対象者10名 アイアンマスター：2名（初） 1級：5名 2級：3名 〔一 般〕 表彰対象者 3名 1級：1名 2級：2名 	<p>□ 引き続き、「ものづくりの精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図る。</p>

【世界遺産課】

□「近代製鉄の歴史と文化」の周知に関する事業

- ・鉄の講座（小中学校）2校
施設見学（橋野鉄鉱山）4校
（鉄の歴史館）10校
（旧釜石鉱山事務所）3校
- ・鉄の出前講座（一般）2件 23人

- ・「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録5周年記念展示 in 橋野鉄鉱山
世界遺産登録に関連する資料や橋野高炉跡の発掘調査等で出土した資料を展示。
期間：7/3(金)～8/17(月) 期間中入館者：1,284人

- ・橋野鉄鉱山見学会
高炉場跡から非公開の採掘場跡、運搬路跡の見学会を開催。
開催日：9/26(土) 参加者：25人

- ・橋野鉄鉱山稼働時代の森づくり育樹祭
三陸中部森林管理署との共催により橋野高炉跡一番高炉東側の国有林の除伐や枝打ちを実施。
開催日：10/24(土) 参加者：60人

- ・鉄の歴史館事業
 - ①金属鑄造体験
金属の道具を作る方法の一つの鑄造体験を実施。
鑄造体験人数：361人

 - ②古文書入門講座
岩手大学三陸復興・地域創生機構、同平泉文化研究センターと共催で古文書入門講座を実施。
開催日：11/21、12/5、1/30、2/13、2/27、3/13（各月土曜開催）
テキスト：「南部藩士に対しての藩政についての建白書」
受講者：延べ109人（21人）

 - ③鉄の歴史館名誉館長講演会
講演：「官営釜石製鉄所の操業挫折-過失？故意？-」
講師：小野寺 英輝名誉館長
開催日：1/9(土) 聴講者：30人

 - ④県指定文化財「紙本両鉄鉱山御山内並高炉之図」一般公開
日本製鉄㈱から市に寄贈された絵巻を一般公開した。
期間：1/8(金)～1/9(土) 見学者：33人

- ・旧釜石鉱山事務所事業
夏休み特別企画「鉱山(やま)の宝探し」を開催。岩石の種類を学ぶとともに標本箱を作った。
開催日：8/1(土) 参加者32人
講師 市世界遺産課課長補佐 森一欽

	<p>□ 「近代製鉄の歴史と文化」の調査に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二番高炉周辺の発掘調査及び試掘調査 二番高炉の北側の種碎水車場、鍛冶長屋、大工長屋等の遺構を確認するため、発掘調査及び御日払所の試掘調査を実施。 期間：8/24(月)～12/4(金) 現地説明会：11/7(土) 説明会参加者：45人 ・運搬路跡の三次元測量の実施 新型コロナウイルス感染症対策のため無人航空機を遠隔操作して事業実施。令和2年度で運搬路跡の測量は終了。 期間：10/23(金)～3/25(木) ・石垣微動調査 二番高炉西側の水路石垣及び南側の平場石垣を対象に石垣の安定性評価を目的とした調査を継続実施したほか、長屋跡の石垣も調査対象に追加した。あわせて、石垣修復のための調査設計を実施。 期間：4/16(木)～3/25(木) <p>□ 「近代製鉄の歴史と文化」を活用していくための検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石市新採用職員研修 橋野鉄鉱山を始めとする釜石の鉄の歴史を学び釜石市職員として必要となる能力を習得する研修を実施。 開催日：5/13(水) 会場：鉄の歴史館、旧釜石鉱山事務所 参加者：13人（新採用職員・派遣職員などの希望者） ・「岩手の世界遺産」教員現地研修会 橋野鉄鉱山について理解を深め、所属校での教育の一助とする研修会を実施。 開催日：8/6(木) 会場：橋野鉄鉱山、鉄の歴史館 参加者：21人（岩手県内教職員） ・「明治日本の産業革命遺産」ガイド研修 世界遺産価値等の理解増進を図りガイド活動における関係地域間の連携・交流を深める研修を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策のため書面開催（DVDの配布）にて実施。 ・「明治日本の産業革命遺産」人材育成研修会 「明治日本の産業革命遺産」全体の価値、構成資産の位置付けについて共通した内容で説明を行えることを目的に各エリアで研修を新型コロナウイルス感染症対策のためリモート開催にて実施。 開催日：1/27(水) 講演「情報センター館内のご案内」 産業遺産情報センター統括管理責任者 西川 三津子氏 講演「産業遺産情報センター研修室の紹介」 同研究室主任研究員 小野崎 敏氏 同研究室研究主幹 伊東 孝氏 	<p>□ 測量により新たに発見された道状の痕跡は今後踏破し、運搬路遺構を確認。</p> <p>□ 二番高炉西側水路石垣は一部積み直し修復し、長屋跡及び南側石垣は石垣表面の保護をする方針で整備を実施する予定。</p> <p>□ 市役所職員だけでなく、新任教職員の研修対象となるよう働きかける。</p>
--	---	---

・釜石地区管理保全協議会
「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山が関係者の連携の下、関連法令及び橋野鉄鉱山管理保全計画に則って的確に管理保全されることを目的として設置し、令和2年度はいずれも書面開催にて実施。

表決日：5/29(金)、9/25(金)、3/3(水)

・橋野高炉跡史跡整備検討委員会
国史跡橋野高炉跡を適切に保存活用していくための検討を行う目的で設置。

第1回開催日：7/9(木) 会場：釜石情報交流センター

第2回開催日：2/18(木) 会場：教育センター

・鉄のふるさと釜石創造事業実行委員会
近代製鉄発祥の地釜石がこれまで培ってきた「ものづくりの魂」と「近代製鉄の歴史・文化」を再認識しながら次世代に継承し、まちづくりのエネルギーとすることを目的に産学官で構成された実行委員会を設置。

開催日：7/9(木) 会場：釜石情報交流センター

□鉄の週間事業(世界遺産課主催事業のみ列挙)

・鉄の学習発表会

市内中学生による鉄の学習の成果を発表。

開催日：11/28(土)

場所：釜石市民ホール TETTO ホール A

内容：(甲子中学校)「鉄についての学習を通して」

(東中学校)「鉄の学習の発表」

来場者：90人

・橋野鉄鉱山世界遺産登録5周年記念シンポジウム
世界遺産「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産登録され5周年に当たることから、記念シンポジウムを開催。

開催日：11/28(土)

場所：釜石市民ホール TETTO ホール A

来場者：160人

講演「『明治日本の産業革命遺産』の世界遺産登録と将来展望」

講師：産業遺産情報センター長・(一財)産業遺産国民会議専務理事 加藤 康子氏

講演「『明治日本の産業革命遺産』及び釜石の意義」

講師：岩手大学理工学部准教授・釜石市立鉄の歴史館名誉館長 小野寺 英輝氏

パネルトーク

「みんなの橋野鉄鉱山『未来予想図』」

コーディネーター 加藤 康子氏

パネラー 川端 美智氏

柏崎 未来氏

菊池 のどか氏

・鉄の記念日に無料公開を実施。

実施日：12/1(火)

当日入館者：鉄の歴史館：15人、

	<p style="text-align: center;">旧釜石鉱山事務所：7人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄の歴史館鉄の記念日企画展「失敗の鐵学」 期間：11/21(土)～1/11(月)祝 期間中入館者：774人 官営釜石製鉄所開所140周年を記念し、官営時代に関連した資料を展示。併せてパンフレットを作成した。 ・旧釜石鉱山事務所鉄の記念日企画展「かまいしの言霊」 期間：11/21(土)～12/6(日) 期間中入館者：57人 釜石にゆかりのある文学作品や市内に設置されている文学碑を紹介。 ・鉄の週間パネル展 「明治日本の産業革命遺産」「岩手の世界遺産」「三陸ジオパーク」を紹介するパネル展を実施。 期間：11/28(土)～12/6(日) 会場：シープラザ釜石 ・令和2年度発掘調査速報展 期間：11/3(火)祝～12/6(日) 会場：橋野鉄鉱山インフォメーションセンター 期間中入館者：808人 	
<p>郷土芸能の伝承や芸術・文化活動への支援</p>	<p>【文化振興課】</p> <p>□郷土芸能復興支援事業 震災津波で被災した釜石虎舞をはじめ、神楽、太鼓等の団体に対して、各種団体等からの補助等の支援活動を紹介。必要に応じて、直接市からの補助金等の支出についても検討しながら、失った機材や活動場所等の確保を図った。</p> <p>○令和2年度助成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサヒグループ・コミュニティ助成事業 田郷鹿踊（川目町内会） ・（公財）全国税理士共栄会文化財団助成金 南部藩壽松院年行司支配太神楽 ・真如苑・郷土芸能保存継承支援助成プログラム 小川鹿踊り保存会 鶴住居青年会 ・郷土芸能支援事業 両石虎舞保存会 	<p>□ 令和3年度も各種助成金を活用して実施する。</p>
<p>埋蔵文化財の調査と指定文化財の復旧</p>	<p>【文化振興課】</p> <p>□埋蔵文化財保存事業 地域社会の歴史をあとづける貴重な文化遺産であり生きた学習の場を提供する埋蔵文化財が永久に失われてしまうことを避けるため、記録保存を行った。 令和2年度は各種開発行為に係る照会等に対応した。 また、復興事業（区画整理事業等）や個人住宅建築等に伴い、事業予定地内に存在する埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の発掘調査成果の整理作業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財包蔵地（遺跡数） 319遺跡 ○埋蔵文化財照会 65件 ○慎重工事 4箇所 	<p>□ 復興事業及び復興に伴う個人住宅の建築を停滞させることの無いよう、全力を挙げていく。また、調査で得られた文化財やデータなどを、現地及び郷土資料館の企画展などで発表・展示し市民への周知を図る。</p>

	<p>○立会調査 4箇所 ○試掘調査 3箇所 ○本発掘調査 0箇所 ○内容確認調査 2箇所 屋形遺跡内容確認調査（文化振興課） 国史跡橋野高炉跡内容確認調査（世界遺産課）</p> <p>○整理作業 4件 横瀬遺跡第1・2・3次調査分、釜石鉱山鉄道一ノ橋橋台跡調査分</p> <p>○市内遺跡分布調査 縄文時代前期遺跡の分布調査</p> <p>□屋形遺跡貝塚保存活用事業 平成27年度の緊急発掘調査以降も調査を継続している屋形遺跡について、検出された遺構や出土した縄文時代の遺物（土器・石器・骨角器・貝類・魚骨類）について、専門家に意見を伺いながら、保存・活用の検討を進めてきた。屋形遺跡は令和3年3月26日に、国史跡に指定された。</p> <p>○内容</p> <p>①屋形遺跡調査指導委員会 新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>②範囲内容確認調査（第5次調査） 期間：令和2年7月29日～8月7日 内容：屋形遺跡の内容を把握し、国史跡指定に向けて調査・測量を実施した。</p> <p>③屋形遺跡現地説明会 新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>④整理作業 屋形遺跡出土遺物の整理作業を行った。</p> <p>○国史跡屋形遺跡について 指 定 日：令和3年3月26日 官報号外第70号告示</p> <p>指 定 理 由： ・三陸沿岸では数少ない縄文時代中期末から後期初頭（約4000年前～3800年前）の貝塚を伴う集落であること ・三陸沿岸の生業の実態を示す遺跡として重要であること ・貝塚から出土した遺物から当時の自然環境や生業を知る稀有な事例であること</p> <p>□史跡等周知促進事業（交付金事業） 東日本大震災において被災した市指定文化財の修復を行った。</p> <p>○平田御番所跡・本郷御番所跡 流出した標柱・看板の設置が完了した。</p> <p>□被災文化財調査事業（復興関連・台風19号関連） 東日本大震災とその後の余震により、流出、倒壊、損傷した文化財については、平成24年度から被災地域の文化財の被災状況調査を行い、復旧等を援助した。また、令和元年に発生した台風19号の被害箇所について、測量等を行った。</p> <p>○東日本大震災関連 ・津波記念碑</p>	<p>□ 令和3年度は国史跡となった屋形遺跡の範囲内容確認調査を行うと共に、専門家の意見を伺い、今後の保存・活用の方向性を検討する。</p> <p>□ 本事業は令和2年度で完了した。</p> <p>□ 今後も調査対象を東日本大震災に限らず風水害等によるものとし、貴重な文化財の保存に努める。</p>
--	---	---

	<p>唐丹町本郷の破損した津波記念碑を「津波伝承碑修復事業実行委員会」を設立し修復した。</p> <p>実施：津波伝承碑修復事業実行委員会（小池直太郎会長）</p> <p>助成金：東日本鉄道文化財団</p> <p>協力：国立民族学博物館 日高真吾教授</p> <p>業者：合同会社文化創造巧芸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴住居・片岸・唐丹地区の石碑 <p>石碑の所有者等の意向により暫時、設置（復興推進本部ほか）</p> <p>○台風19号関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女坂の一里塚（市指定） <p>東側の塚の一部が崩落した。復旧等を検討し、現状を把握するための三次元測量を行った。現地はブルーシートで覆い養生中である。</p> <p>□文化財標柱設置事業</p> <p>市内に点在する文化財や伝承される文化財を、市民に周知し、保護・保存の意識を促すことを目的に標柱を設置する。</p> <p>○看板作製</p> <p>「上栗林のさくら」看板交換（老朽化による）</p> <p>□文化財保護事業</p> <p>釜石市にある文化財の適正な保護と活用を図るため、文化財保護審議会を開催して、文化財の指定等の諮問に対する答申などを受けた。</p> <p>また、指定・未指定にかかわらず、被災地域を中心として文化財目録の洗い出しを行い、貴重な文化財の発掘及び指定促進を図った。</p> <p>○文化財保護審議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 <p>開催日：令和2年9月30日（水）</p> <p>会場：教育センター</p> <p>内容：①令和元年度文化財保護と活用事業の実施状況について</p> <p style="padding-left: 2em;">②令和2年度文化財保護と活用事業の計画について</p> <p style="padding-left: 2em;">③令和2年度釜石市文化財指定推進物件の取扱いについて</p> <p style="padding-left: 2em;">④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回 <p>開催日：令和3年1月29日（金）</p> <p>会場：教育センター</p> <p>内容：①委員の専門部会について</p> <p style="padding-left: 2em;">②令和2年度釜石市文化財指定推進物件について</p> <p style="padding-left: 2em;">③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回 <p>開催日：令和3年3月24日（水）</p> <p>会場：教育センター</p> <p>内容：①令和2年度事業の報告</p> <p style="padding-left: 2em;">②令和2年度釜石市文化財指定推進物件について（指定文化財に関する答申）</p>	<p>□ 引き続き、市内の文化財の掘り起こし、新規指定に取り組んでいく。</p>
--	---	--

- 文化財パトロール
新型コロナウイルスの影響により中止
- 文化財調査事業 通年/市内全域
市内の指定文化財の保存と維持管理、史跡の保存及び景観の保持、文化財指定を促進した。
 - ①調査等
 - ・釜石市文化財保護審議会委員による調査
 - ・各種関係団体による調査への協力
 - ・文化振興課職員による調査
 - ②新規指定文化財
 - ・国指定 史跡 屋形遺跡
(指定日：令和3年3月26日)
 - ・市指定 有形文化財 鮎供養碑
(指定日：令和3年3月25日)
 - ・市指定 天然記念物 女遊部のトチノキ
(指定日：令和3年3月25日)
 - ③指定・登録文化財件数
 - ・文化財指定件数(国・県・市)計 73件(+3,-1)
 - 国指定文化財 3件(+1)
 - 県指定文化財 6件
 - 市指定文化財 64件(+2,-1)
 - ※ () 内は前年度からの増減件数
 - ・国登録有形文化財(建造物) 1件
- 特別天然記念物保護処理事業
「文化財保護法」及び「特別天然記念物の管理に関する法律」の規定により、国指定の鳥獣の保護管理と滅失した時に処理を行った。
- カモシカの保護と処理
 - ①出動件数 32件(前年度33件)
 - ②滅失件数 20件(前年度14件)
- 釜石市指定文化財管理委託
 - 管理委託件数 61件
- 文化財所蔵資料整理公開事業
当課で管理している文化財資料を整理し公開する。
 - ①収蔵庫整理
復興交付金により旧小川幼稚園の埋蔵文化財収蔵施設の整備及び既存の収蔵庫の収納・整理作業を行った。
 - ②展示公開
郷土資料館及び教育センター1階に、屋形遺跡の遺物を展示した。教育センター1階は中学生の職場体験による。
- 出前講座事業
まちづくり課で所管する生涯学習まちづくり出前講座の開催を通じて市民に郷土の歴史についての理解を促し、文化財愛護思想の高揚を図った。
 - 生涯学習まちづくり出前講座
 - ・メニュー
 - ①縄文の道具(0件)、②釜石の歴史(7件)、③釜石の史跡(0件)、④鉄の講話(4件)
 - ・総件数：11件

	<p>□文化財なんでも体感事業 市内各所に所在する文化財を活用し、市民に郷土の歴史への理解を促す。また、この事業を契機に文化財愛護思想の高揚を図る。 ○史跡めぐり 新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>□文化財公開事業 有形文化財展と郷土芸能祭を隔年で実施する。 ○有形文化財展 釜石市内の文化財を公開し、市民が郷土にある貴重な資料に触れる機会を創出した。そのなかで郷土の歴史や文化財の重要性、保護の必要性を認識していただくとともに、郷土愛を育む。 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止 ○郷土芸能祭開催事業 釜石市内に伝わる無形民俗文化財の保護と活用を通じて「かおり高い文化のまちづくり」を推進するため、釜石市郷土芸能祭を開催する。 隔年開催のため令和2年度は未実施</p> <p>□歴史はっけん事業 地域に残る歴史・文化財の掘り起こしを行い、計画的な保存活用を行うため、釜石市文化財保存活用地域計画策定のための準備を行った。 ○古文書調査 時 期：7月～3月 場 所：小川町 調査者：岩手大学人文社会学部 家井教授ほか ○文化財目録確認調査ほか ○データベース作成</p>	<p>□ 隔年開催 次回は令和4年度を予定</p> <p>□ 隔年開催 令和3年度開催予定</p> <p>□ 継続</p>
--	---	---

3 絆と支えあいを大切にするまちづくり（基本目標2）

総合評価	
<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園舎の維持管理を行うことで年齢に相応しい適切な環境を整え、より良い幼児教育の実践に努めた。 <p>【まちづくり課・図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な世代、又は地域のニーズに応じた生涯学習の機会を提供することにより、学びと実践が循環する生涯学習社会の推進が図られた。 学校、地域及び行政との連携・協働・支えあいにより、子どもたちが安心して学び、遊べる教育環境の確保が図られた。 公民館及び公民館分館、図書館等の施設の老朽化が進んでいることから、維持補修を実施し利用者の安全性と利便性の向上に努めた。今後も計画的な整備、維持補修を行っていく必要がある。 	

取組項目		個別評価
1	安心できる子育て環境の整備	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、鶯住居幼稚園の適切な維持管理に努めた。
2	学びが実践につながる生涯学習社会の形成	<p>【まちづくり課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館事業については、市民のニーズや置かれた環境に即し、ライフステージに応じた学習機会の提供、事業実施に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した事業もあった。また、貸館業務ができない期間があり、自主サークル活動等に影響が出た。 公民館及び公民館分館については、老朽化が激しい施設が多いことから、今後も計画的な整備、維持管理に努める。 地域学校協働活動体制推進事業、放課後子ども教室、教育振興運動については、学校や地域の協力を得ながら、学習支援や子どもの安全な居場所づくり、情報メディアに関する取組などを行った。 生涯学習に関する事業については定着が図られているが、学習ニーズの把握や事業の周知など、新たな事業展開が必要である。 新型コロナウイルス感染症の影響により、いずれの事業も前年と比較して実施回数、参加人数が減少しているが、感染症対策を実施しながら、安全を第一に考えた事業運営に努めた。 <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書企画展や市民教養講座の開催、移動図書館車の運行、ブックスタート事業など読書活動を推進し、様々な世代のニーズに合わせた生涯学習の機会と場の提供に努めた。

【取組項目】

① 安心できる子育て環境の整備

実施施策	令和2年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
被災した幼稚園等の整備	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月に新園舎が完成した後は、引き続き施設の適切な維持管理に努めている。 	<input type="checkbox"/> 園舎の適切な管理を行う。

② 学びが実践につながる生涯学習社会の形成

実施施策	令和2年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応												
公民館や図書館などの早期復旧	<p>【まちづくり課】</p> <p>□公民館・分館維持管理 公民館（8館）及び分館（7館）の維持補修等を必要に応じて行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○甲子公民館 会議室照明修繕 ○甲子公民館 ガス器具修繕 ○甲子公民館 事務室照明修繕 ○鶴住居公民館仮宿分館 配電設備(アンペア変更)改修 ○鶴住居公民館 ピアノ修繕 <p>【公民館・分館利用者数】</p> <table border="1" data-bbox="336 636 1038 719"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21,397人</td> <td>52,312人</td> <td></td> <td>85,308人</td> <td>73,648人</td> <td>54,321人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【図書館】</p> <p>□図書館の環境整備 利用者が安全・快適に施設を利用できるよう、図書館の環境整備に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図書館新型コロナウイルス感染症対策事業として紫外線照射による図書の除菌ができる図書除菌機を設置した。また、カウンター、閲覧室にパーテーションを設置して対策を行った。 <p>□図書館サービスの充実 各種サービスの充実を図るとともに、講演会の開催や資料の展示・提供など多様な学習機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企画展・巡回展：28回 読書への関心を深めるため、当館独自の企画展や県立図書館の巡回展を開催した。 ・「賢治資料展」・「なやまない！おたのしみ袋」・「かむ、たべる、はぐくむ！」・「教科書展示会」・「守りたい環境」・「七夕図書展」・「手づくり絵本展」・「夏休み宿題応援図書展」・「《企画展》戦争と平和」・「文学賞受賞図書展」・「こころが軽くなる～認知症との付き合い方～」・「敬老図書展」・「《企画展》こころが風邪をひいたなら」・「3つの秋よくばり図書展」・「《企画展》賢い図書館活用術」・「こんなにあります！「職業の選択」図書展」・「《企画展》井上ひさしの世界」・「《企画展》鉄の記念日図書展」・「クリスマス図書展」・「冬休み宿題応援図書展」・「わくわく！本の福袋」・「岩手の保健福祉1960～70年代を中心に」・「あなたのポップを募集します！」・「おらほのことば～橋正一没後80年～」・「たいせつな人を守る アレルギーの基礎知識」・「《企画展》読みつなぐ3.11～あの日から10年～」・「ひなまつり展」・「啄木資料展」 ○イベント・講演会等 市民の学習活動を支援するため多様な学習の場を提供した。 《講座：2回、イベント：4回/参加者430人》 ・「鉄の歴史講座『釜石製鉄所専用鉄道について』」・「震災と俳句 一十年目の節目にあたりー」・「なつやすみ読書チャレンジ」・「クリスマス会」・「ビブリオバトルin 	22年度	23年度	…	30年度	元年度	2年度	21,397人	52,312人		85,308人	73,648人	54,321人	<p>□ 公民館分館は老朽化が激しいことから、緊急度を勘案して維持補修や建て替えを行っていく。</p> <p>地区の集会所が新築されるため、鶴住居公民館川目分館と小佐野公民館向定内分館を令和3年度中に解体する予定。</p> <p>□ 図書館は、経年劣化が進んでいるため、緊急度や優先順位を総合的に判断の上、計画的な維持補修を実施する。</p>
22年度	23年度	…	30年度	元年度	2年度									
21,397人	52,312人		85,308人	73,648人	54,321人									

としょかん」・「《特別企画》開運本みくじ」

○ブックスタート事業：20回/194人参加
読み聞かせや絵本のプレゼントを通して、本に親しむことの大切さを伝えるとともに、親子のふれあい創出の一助とした。

- ・もぐもぐごっくん教室と併催・6ヶ月健診と併催

○映画会等：9回
優れたアニメ等の映画ビデオの上映を通して、図書館利用の促進を図った。

- ・としょかん映画会：77人観覧

○出張！図書館サービス：5回/123人参加
ボランティア団体と連携し、図書館を利用する機会が少ない方々のところに出向き、読み聞かせやDVD等を上映した。

○手づくり絵本教室：2回（4日間）/19人参加
絵本への愛着とものを作り上げる喜び（達成感）を感じてもらう機会とした。

○図書館こどもまつり：47人参加
多読賞の表彰、絵本、紙芝居の読み聞かせを行い、親子で図書館に親しむ機会とした。

○体験学習等：12回/282人参加

- ・市内小学校の生活科施設見学として図書館についての理解を深めるための学習機会を提供した。（9校270人）
- ・中学生職場体験学習・教職経験者社会体験研修

○図書館報の発行：12回
図書館の利用案内や催事情報提供のため学校を通じて市内全小学生に「ふれあい通信」、中学生以上を対象に「もっと！ふれあい通信」を発行、また中学生を対象とした図書紹介「ホンホン通信」の発行を開始し、館内及び各地区生活応援センターでの掲示やホームページ掲載を行い、図書館の利用促進を図った。

○移動図書館の運行：2,212人利用/5,413冊貸出
市内遠隔地や福祉施設、学校等市内57ヶ所を巡回し読書の推進を図った。

○絵本カープロジェクト：2,281人利用/132回実施
市内小学校、幼保施設、読書ボランティア団体と連携し、読書活動推進を行った。

○団体貸出：通年/428件貸出
市内小学校や幼保施設、読書ボランティア団体などを対象に図書館資料を貸出した。

○朗読奉仕：10回
朗読奉仕「ハマナスの会」の協力により、地元紙の一部を朗読して録音し、希望者8人に送付した。

○おはなし広場：9回/27人参加
「颯・2000の会」の協力により、来館した幼児・児童に絵本の読み聞かせを定期的を実施した。

〔図書館年間利用人数及び貸出冊数〕（移動図書館含む）

22年度	23年度	…	元年度	2年度
27,635人	22,432人		22,793人	20,156人
92,205冊	75,234冊		76,127冊	67,891冊

<p>ライフステージに応じた学習機会の創出</p>	<p>【まちづくり課】</p> <p>□家庭教育子育て支援事業</p> <p>○就学時健診を活用した子育て学習講座 元気な命のリズムは「早寝・早起き・朝ごはん」から 〔開催日／会場／対象〕</p> <p>①10.29(木)／白山小／白山小6人 ②11.5(木)／甲子小／甲子小41人</p> <p>□地域学校協働活動体制推進事業</p> <p>地域学校協働活動の推進体制（地域学校協働本部）を設置し、地域と学校の連絡調整等を行う地域コーディネーター配置のもと、地域住民等の参画を得ながら、学校支援活動をはじめとする様々な地域学校協働活動を行った。</p> <p>〔実施校〕 釜石小学校、栗林小学校、鶴住居小学校、白山小学校、甲子小学校</p> <p>〔活動回数（5校）〕720回 〔地域住民等の参画人数（5校）〕のべ約7,200人 〔運営協議会〕新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催または中止</p> <p>〔研修等〕 「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会 7.8(水)／県立生涯学習推進センター／1人出席</p> <p>□教育振興運動</p> <p>各実践区において、5者がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携して地域の教育課題の解決に取り組む活動を支援し、地域の教育力の向上を図るため、研修機会の提供、情報提供や情報交換、実践区活動再構築への支援、運営経費への補助等を行った。</p> <p>〔時期〕通年 〔対象〕子ども、保護者、学校、地域、行政 〔内容〕協議会総会、各実践区による活動、教振だよりの発行等</p> <p>〔研修・協議会集会〕</p> <p>○研修</p> <p>・「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会 7.8(水)／県立生涯学習推進センター／1人出席</p> <p>○協議会集会</p> <p>・釜石市教育振興運動協議会推進委員会 6.10(水)／市教育センター／16人 ・釜石市教育振興運動協議会総会 7.8(水)／中妻公民館／26人 ※釜石市教育振興運動協議会集約集会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。</p> <p>□放課後子ども教室推進事業</p> <p>子どもたちが安心して遊び学ぶことができる教育環境</p>	<p>□ 今後も就学前児童の保護者が集まる有効な機会を利用し、生活リズムの大切さを周知していく。新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら、全児童の保護者対象の講座開催についても検討を要する。</p> <p>□ 今後も新しい学習指導要領で掲げられている「社会に開かれた教育課程」の具体施策として、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設置準備をするとともに、さらなる展開を図りたい。</p> <p>□ 本運動の中心となる実践区では、今後も工夫された多様な実践活動の展開が期待される。子どもを支える4者（保護者、学校、地域、行政）の関わり強化をしながら本運動を通じ、地域全体で子どもを育てる体制をさらに醸成していく。</p> <p>□ 各教室単位では、安全管理員の減少などの課題がある。</p>
---------------------------	--	--

を確保するため、放課後等における活動拠点（居場所）として放課後子ども教室を開設し、地域住民等の参画を得て、自由活動の見守りのほか、多様な学習機会（体験学習・スポーツ等）を提供した。

また、仮設団地を会場としていた鶴住居子ども広場は、地域の集会施設や児童館等に会場を変更し、継続実施できた。

〔時期〕 通年 ※新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言のため、4月～5月は中止

〔対象〕 子ども、地域住民

〔教室名・場所・基本実施日等〕

①ばしょまえ交流館

釜石小学校区／カトリック釜石教会／週2回

②ふたば放課後子ども教室

双葉小学校区／双葉小学校地域連携施設／週1回程度

③小佐野放課後ひろば

小佐野小学校区／小佐野公民館／週1回程度

④平田MOSICA

平田小学校区／平田復興住宅集会室／週1回

⑤かっしっこひろば

甲子小学校区／甲子公民館／週1回

⑥鶴住居子どもひろば

鶴住居・栗林小学校区／日向・新川原集会所（長内集会所）、栗林児童館／週3回

※安全管理員研修会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

22年度	23年度	…	30年度	元年度	2年度
3,018人	335人		4,492人	4,252人	2,822人

□子どもの読書活動推進事業

学校、図書館、ボランティア団体との連携により、子どもの感性、表現力、想像力の豊かさを育む読書活動を推進した。また、研修会等へ参加し、それぞれのスキルを高めることができた。

○生涯学習まちづくり出前講座

「絵本カーによる読み聞かせ」の開講

6.25(木)、9.4(金)、9.18(金)、11.12(木)、12.23(水)、1.14(木)、3.17(水)／のべ84人

〔研修等〕

○読書ボランティア研修会

9.15(火)／大船渡市立三陸公民館／4人出席（読書ボランティア含）

○子どもの読書活動推進会議

11.5(木)／釜石地区合同庁舎／3人出席

□国際理解支援事業

異文化に対する相互理解を深め、地域の国際交流活動を推進する担い手を育成・支援するため、釜石市国際交流協会と連携して各種教室を実施した。

○初級英会話講座（後期）

10.13(火)～11.24(火) 毎週火曜日／釜石公民館、釜石情報交流センター／受講者8人、のべ40人

○外国人のための日本語教室

安定的に継続して実施できるよう中長期的視点を持ちながら、放課後子ども教室の周知や安全管理員の募集などを実施していく。

□ 第4次子どもの読書活動推進計画に基づき、各関係機関等とさらに連携強化を図り事業を推進する。市内の読書ボランティアを対象とした研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したが、ボランティアの横の繋がりが生まれる有意義な機会となっており、今後も継続的に実施したい。

□ 令和3年度から市国際交流課が担当となり、事業を引き継ぐこととした。引き続き、学習機会を多く提供できるように連携を図っていく。

5.17(日)～3.21(日) 毎月第3日曜日／釜石公民館／
 受講者8人、のべ39人 ※5.17中止
 ※初級英会話講座(前期)、外国語広場は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

□こどもエコクラブ(市生活環境課事業とも連携し実施)
 自然の中での様々な体験活動を通じて、自然環境への理解を深め、環境保全に配慮した行動をとることができる資質を育むことを目的に、関係団体等の協力を得ながら実施した。

[内容・参加者数等]

登録会員数 小学生 35人

①ホタル観察会

7.3(金)／小川(ワッカラ淵)／28人

②夏の星空観察会

8.21(金)／釜石鶴住居復興スタジアム／23人

③冬の星座観察会

12.12(土)／鉄の歴史館第2駐車場／15人

④かまいしバードウォッチング

1.31(日)／鶴住居川河口(鎧坂橋付近)／12人

⑤君こそ海博士だ!!(ドンコの解剖他)

3.20(土)／岩手大学釜石キャンパス／19人

□岩手大学生涯学習講座

岩手大学社会人学び直しプログラム開発の一環として、「いわて生涯学習士育成講座」を開催し、地域のリーダー育成を目指したカリキュラムのひとつである「生涯学習基礎コース」を釜石市で実施した。

10.8(木)、9(金)／市教育センター／8日 10人、9日 9人

□立正大学デリバリーカレッジ

市民が生涯学習に関心を持ち、実践するきっかけとする。

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

□生涯学習まちづくり出前講座

様々な学習機会を提供することにより、生涯学習意識の高揚を図り、地域課題とその解決について考えることを目的として実施した。講座メニューを見直し、令和2年度は新たに13講座を追加した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、5月31日まで受け付けを中止したことや一部中止している講座があることから、開催講座数は減少した。

[学習メニュー]

市によるもの71講座、関係機関によるもの24団体102講座 計173講座登録

[実施回数及び受講者数]

22年度	23年度	…	30年度	元年度	2年度
67回	16回		54回	55回	37回
2,236人	850人		1,118人	1,349人	629人

□ 令和2年度は会員登録とし、1年間同じメンバーで活動した。今後も子どもたちが自然環境へ関心、興味を持てるような内容を継続して実施する。

□ 受講する講座を各自で選択できたことから、市外からの受講者も多かった。今後も岩手大学と連携し、地域のリーダー育成を目指した内容として、継続開催を目指す。

□ 市民の生涯学習への興味、関心を高めるため、立正大学と連携し、市民が参加しやすい講座を実施していく。

□ 様々な学習の場を提供する機会として、継続実施していく。よりよい講座の実施を目指して周知及び利用方法について、利用者目線で検討していく必要がある。

4 教育行政に関する事項

主な項目	令和2年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
教育行政	<p>□教育行政の執行に当たっては、5人の委員で構成される合議制の執行機関として、毎月の定例会議のほか必要に応じて会議を招集するとともに、学校訪問の実施や各課の事務の取り組み状況の把握を行った。</p> <p>また、新しい教育委員会制度に対応した総合教育会議を開催し適切な執行管理に努めた。</p> <p>〔教育委員会議定例会〕 11回開催 〔教育委員会議臨時会〕 2回開催 〔総合教育会議〕 3回開催 〔委員会議以外の主な活動〕</p> <p>・学校訪問 7.7(火)/甲子中学校 7.8(水)/唐丹小学校</p> <p>□市民への教育行政全般に関する情報提供を行うため、「教育広報」を11月と3月に発行し、市内全戸に配布した。</p>	□ 総合教育会議の充実
教育振興基金 寄附金	<p>□釜石市の教育振興と児童・生徒を応援するためにと、全国から寄附金が寄せられた。</p> <p>・寄附件数 8件 〔内訳：団体2件 個人5件 ふるさと寄附金分1件〕 合計 28,082千円</p>	□ 釜石市教育振興基金に積み立て、その後寄附者の申し出に沿った事業に活用する。

5 資料

平成29年度の組織機構の見直しにより、教育委員会の事務の一部を市長部局へ移管しました。以下の事業は、点検評価の対象とはなりません。事務の継続性を確認するため掲出しております。

基本目標7 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり

【取組項目】

① 歴史遺産の活用と芸術文化の振興

【文化振興課】

実施施策	令和2年度の主な取り組み内容と成果																								
郷土芸能の伝承や芸術・文化活動への支援	<p>□伝統文化子ども教室事業</p> <p>3団体が教室を開催。児童生徒が伝統文化に触れることを通し、その分野の技能だけでなく、礼儀作法を身につけることに繋がっている。教室の指導者養成や参加児童生徒、運営資金の確保が課題である。</p> <p>〔時期〕 通年 〔場所〕 市内 〔対象〕 市内の小学校から高等学校までの児童生徒 〔団体〕 釜石市表千家茶道こども教室、釜石市裏千家茶道こども教室、杵家会釜石支所 ※釜石草月会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は開催中止。</p>																								
	<p>□釜石市民芸術文化祭開催事業</p> <p>新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、第50回目の釜石市民芸術文化祭及び記念式典を開催した。</p> <p>前年度よりも展示・発表部門ともに参加団体が減少したが、特別展示として、市内公民館で活動している団体の作品や市内小中学校所有の絵画、「岩手県小中学校新聞コンクール」入選作品を展示した。</p> <p>芸術文化協会へ加入する団体が減少傾向にあり、子どもや若い世代の参加が少ないことから、今後の芸術文化祭の開催方法等について、芸術文化協会と引き続き協議を進めていく必要がある。</p> <p>〔時期〕 11/13（金）～15（日） 〔場所〕 釜石市民ホールTETTO 〔対象〕 市民、釜石市芸術文化協会加入団体 〔内容〕 絵画、書、切り絵、生け花等の展示、大正琴、バレエ、子どもエアロビックダンス、チンドン寺町一座（大船渡）等のステージ発表</p> <p>〔市民芸術文化祭参加団体、入場者数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体数</td> <td>32団体</td> <td>24団体</td> <td></td> <td>39団体</td> <td>34団体</td> <td>24団体</td> <td>19団体</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>4,817人</td> <td>1,357人</td> <td></td> <td>1,261人</td> <td>1,767人</td> <td>1,880人</td> <td>1,560人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	22年度	23年度	…	29年度	30年度	元年度	2年度	参加団体数	32団体	24団体		39団体	34団体	24団体	19団体	入場者数	4,817人	1,357人		1,261人	1,767人	1,880人	1,560人
	年度	22年度	23年度	…	29年度	30年度	元年度	2年度																	
参加団体数	32団体	24団体		39団体	34団体	24団体	19団体																		
入場者数	4,817人	1,357人		1,261人	1,767人	1,880人	1,560人																		
<p>□郷土資料館管理運営事業</p> <p>釜石市郷土資料館の収蔵資料（被災資料保存事業により保存・修復処理した資料を含む）について、通年で整理・分類を行った。また、常設展示のほか時期に応じた企画展（戦災、鉄の記念日、津波・震災関連）を開催した。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館及び入館制限を実施したため、前年度と比較すると個人・団体ともに利用者数が減少した。コロナ禍においても、来館者が安全安心で施設を利用出来るよう、引き続き感染防止対策の徹底に取り組んでいく。</p> <p>〔時期〕 通年（企画展は年3回開催） 〔内容〕 収蔵資料の保存・管理、展示公開、データベースの整理、資料貸出し</p>																									

〔郷土資料館利用者数〕

年度	22年度	23年度	…	29年度	30年度	元年度	2年度
団体数 (人数)	57団体 (3,855人)	13団体 (455人)		33団体 (563人)	30団体 (507人)	51団体 (956人)	20団体 (430人)
利用者数 合計	5,540人	786人		2,249人	3,079人	5,109人	2,004人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R2.4.22～R2.5.13 臨時休館

〔所蔵資料件数〕

8,110件（令和3年3月現在）

② スポーツの推進とスポーツ施設の拠点化

【スポーツ推進課】

実施施策	令和2年度の主な取り組み内容と成果																																																																																
スポーツを通じた市民の健康づくりの推進	<p>□スポーツ推進委員派遣事業 例年スポーツ推進委員を地区行事やPTA 行事、親子レクリエーション等へ派遣することで、健康づくりとスポーツの普及を図ったがコロナ禍により実施件数及び参加者は減少傾向となった。</p> <p>〔講師派遣事業実施件数と参加者、推進委員数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23件</td> <td>9件</td> <td></td> <td>16件</td> <td>25件</td> <td>10件</td> <td>17件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>739人</td> <td>496人</td> <td></td> <td>559人</td> <td>540人</td> <td>397人</td> <td>411人</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>26人</td> <td>25人</td> <td></td> <td>27人</td> <td>27人</td> <td>22人</td> <td>32人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□健康づくりによる復興コミュニティ形成支援事業 平成31年度まで緊急雇用創出事業及び復興交付金を活用し「被災者健康づくり事業」として実施してきた。28年度からは被災者支援総合交付金を活用して「仮設団地等における健康支援事業」として実施。指導員2名、補助員2名の計4名体制で仮設団地や復興住宅等で市民の健康づくりのため健康体操教室などを行った。</p> <p>〔健康支援（健康づくり）事業参加者数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-人</td> <td>235人</td> <td></td> <td>8,100人</td> <td>10,389人</td> <td>9,225人</td> <td>8,484人</td> <td>7,442人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□第46回釜石健康マラソン大会 市民参加型のイベントであり、健康増進の一助として継続的に開催しており、当該年度より釜石鶴住居復興スタジアムを会場に実施した。コロナ禍の影響により例年より参加者が少なかったもの。</p> <p>〔健康マラソン大会参加者数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>753人</td> <td>574人</td> <td></td> <td>463人</td> <td>427人</td> <td>339人</td> <td>335人</td> <td>179人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□スポーツ施設利用状況 〔スポーツ施設利用者数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>158,535人</td> <td>81,540人</td> <td></td> <td>148,747人</td> <td>143,975人</td> <td>132,714人</td> <td>136,987人</td> <td>157,513人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度より市民体育館と釜石鶴住居復興スタジアムも追加</p>	22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	23件	9件		16件	25件	10件	17件	6件	739人	496人		559人	540人	397人	411人	84人	26人	25人		27人	27人	22人	32人	12人	22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	-人	235人		8,100人	10,389人	9,225人	8,484人	7,442人	22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	753人	574人		463人	427人	339人	335人	179人	22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	158,535人	81,540人		148,747人	143,975人	132,714人	136,987人	157,513人
22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度																																																																										
23件	9件		16件	25件	10件	17件	6件																																																																										
739人	496人		559人	540人	397人	411人	84人																																																																										
26人	25人		27人	27人	22人	32人	12人																																																																										
22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度																																																																										
-人	235人		8,100人	10,389人	9,225人	8,484人	7,442人																																																																										
22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度																																																																										
753人	574人		463人	427人	339人	335人	179人																																																																										
22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度																																																																										
158,535人	81,540人		148,747人	143,975人	132,714人	136,987人	157,513人																																																																										

□スポーツ団体及びスポーツ少年団関係
〔スポーツ団体数(上段)及びスポーツ少年団数(下段)〕

22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
37団体	37団体		37団体	37団体	37団体	37団体	37団体
34団体	34団体		25団体	26団体	24団体	24団体	24団体

スポーツ施設の拠点化とスポーツイベントの誘致

□スポーツ施設の整備
市内スポーツ施設において、老朽化が著しい施設もある中で、多くの市民に利用されている。今後も継続的に安心安全に利用してもらうことを念頭に、老朽化している施設を重点的に修繕を行った。

□各種イベントの開催及び支援

○釜石ラグビィグドリーム2020

〔期 日〕令和2年11月1日(日)

〔場 所〕釜石市球技場

〔内 容〕釜石SWーヤクルトレビィズの無料招待試合

〔参加者〕3,000人

○各種大会等への支援

・第65回岩手県高等学校新人体育大会柔道競技 50千円

・2020年度釜石市長杯・ライオンズカップ少年サッカー大会 50千円

「令和2年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書」

有識者からの意見聴取会意見（要点）

有識者からの意見聴取会を開催し、教育委員会が取りまとめた点検・評価調書に基づき、3つの基本目標、その目標に係る5つの取り組み項目について、自己評価の妥当性及び今後の教育施策の推進に向けて御意見をいただいた。

1 開催日時 令和3年8月20日（金）10時00分から11時10分まで

2 会場 釜石市教育センター 2階 教育委員会室

3 委員 柏崎 未来さん（一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校理事）
川崎 杏樹さん（いのちをつなぐ未来館（株式会社かまいしDMC））
久保 知久さん（釜石市文化財保護審議会副会長）
佐々木 幾子さん（釜石保育会会長）
及川 靖浩さん（釜石市小中学校長会会長）
藤社 望さん（釜石市PTA連合会会長）

4 意見の聴取方法

- (1) 点検・評価調書を事前に配布し、あらかじめ内容を確認していただき、当日の会議において意見を伺った。
- (2) 妥当性については、「概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）」、「やや妥当でない（やや違っている）」、「全く妥当でない（全く違っている）」のいずれに該当するかという観点からを中心に意見を伺った。

5 意見の概要

（1）強く生き抜く子どもを育てるまちづくり（基本目標6）

①地域との協働による特色ある教育活動の展開

②生活・防災拠点としての教育環境整備

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○かまいし絆会議が、取組を通して将来の釜石のリーダーを養成するような人材育成の場になるのではと期待できる。子どもたちが地域と関わり、生き生きと考え取り組むことで、関わる大人にとっても刺激になるいい活動だと感じる。地域で関わる大人としても、子どもたちが真剣に地域や学校のことを考えていて誇らしく思え、子ども達の活動をもっと大人にも知ってほしい。将来を担う子どもたちのためにも取組を続けて欲しい。</p> <p>○かまいし絆会議では、各学校においても地域の特徴を生かした取組が行われているが、この取組を各学校がどう生かすかが課題ではないか。</p> <p>○「こころのケア」については、スクールカウンセラー等といった専門職の力が必要であり、人的環境を整え今後も継続してほしい。いじめの重大事案は発生していないとのことで、いじめに限らず環境や友人関係など様々な問題がある中で、関係機関と連携して適切に対応されていると思う。</p> <p>○不登校が増加傾向にあると感じるが、不登校の子どもを考えると、一日一日が大切であるため引き続き丁寧なケアをお願いしたい。不登校は、初期段階での早期の適切な対応が大事であると感じている。</p> <p>○「いのちの教育」の実践で、各校で避難訓練等が実施されているが、訓練に加えて対処する心構えの教育により、ただ逃げるのではなく、自分たちの命をどのように守るべきか、具体的な対処方法や工夫に繋げてほしい。津波だけでなく、大雨による洪水、土砂災害等への意識を高め、これからも「いのちの教育」を推進してほしい。災害時を想定した炊き出しの実習、学校から帰宅できなくなった場合の訓練の必要性も感じる。学校内に設置されている備蓄倉庫の内容を学校、地域と共有し、災害時の行動に役立つ取組を検討してほしい。</p>

○空調設備の設置により、子どもたちも快適な環境で熱中症対策を取りながら学習を行っている。避難所に指定されている学校で、避難場所となる教室で空調設備が設置されていない特別教室があるため、計画的な設置の検討をお願いしたい。
○学校給食については、食物アレルギーへの個別対応食が始まっており、今後も必須の取組として丁寧な対応をお願いしたい。

(2) 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり (基本目標7)

①歴史遺産の活用と芸術文化の振興

妥当性について	概ね妥当な評価である (概ね自己評価のとおりである)
主な意見	<p>○鉄づくり体験事業は、釜石らしいすばらしい体験なので、更に取組を進めて市内の子どもたち全員が年代で体験できるようになれば良い。「鉄のまち釜石」に住む子ども達には、鉄に関する知識をもっと増やしてほしいし、本物の鉄に触れる体験事業は継続していただきたい。</p> <p>○国史跡に指定された「屋形遺跡」は現地が埋め戻されているが、郷土資料館で資料を展示していることをもっと周知してほしい。</p> <p>○市内には、鉄以外にも素晴らしい文化財があることから、子どもたちの理解を深めるためにも、学校教育の様々な場面で文化財を取り上げていただきたい。</p> <p>○各地域に虎舞、神楽といった郷土芸能があり、地域で子どもたちを巻き込んで一つの郷土芸能になっていると思うので、伝承や活動への支援を継続してほしい。郷土芸能の伝承のためには、地域の力が不可欠であり、子どもや大人が一体となり、地域全体で引き継いでいこうとする雰囲気作りが大事だと思う。学校単位で伝承活動を行うことは難しいため、地域の力の必要性を感じている。</p> <p>○郷土芸能では、一生懸命練習しても発表する機会が少ないのが一番の課題であり、コロナ禍ではあるが、地元を含め広く知ってもらえる機会を増やしてほしい。</p>

(3) 絆と支えあいを大切にするまちづくり (基本目標2)

①安心できる子育て環境の整備

②学びが実践につながる生涯学習社会の形成

妥当性について	概ね妥当な評価である (概ね自己評価のとおりである)
主な意見	<p>○地域学校協働活動事業により、地域と学校を結ぶ地域コーディネーターが配置され、地域と連携し特性を生かした活動をする中で、子どもたちにとってもいい影響を与えていると思う。地域コーディネーターの役割は大きいと感じるので、未配置の学校への配置を検討していただきたい。</p> <p>○「こどもエコクラブ」は大切な環境を知る機会として例年好評と聞いている。子どもたちだけではなく大人も巻き込みながら、釜石市の自然に触れる貴重な機会として引き続き実施してほしい。子ども達が自然環境に興味関心を持つことはとても良いことだと思うので、工夫を凝らし今後も継続してほしい。</p> <p>○公民館が主体となり、様々な企画でライフステージに応じた学習機会が提供されており評価できる。普段参加しない方が興味を持って参加するような取組を是非お願いしたい。</p> <p>○いのちをつなぐ未来館において、防災を通して学び年齢に合わせたプログラムを実施することが出来るので、学習の場としても検討していただきたい。</p> <p>○図書館の利用者がコロナ禍で減少しているが、様々な事業や企画していただきありがたいと感じている。</p> <p>○生涯学習の分野は、これからも重要な課題として取り上げられると思うので、出前講座や様々な方法により更に充実させてほしい。</p>

6 その他 (全般を通しての意見) 特になし